

令和6年度 学校評価アンケートの概要について

1 回収率

実施日：令和6年11月21日（木）～12月2日（月）

対象	回答者数	回答率	(昨年度)
生徒	84名	83名	96.7% (96.7%)
寄宿舎生	42名	42名	100% (95.1%)
保護者	84名	75名	89.2% (97.8%)
教職員	73名	73名	100% (100.0%)

2 結果と考察

- 保護者・職員 A「当てはまる」、B「やや当てはまる」、C「あまり当てはまらない」、D「当てはまらない」から選択
- 生徒・寄宿舎生 A「できる、わかる、はい、ある」、B「できない、わからない いいえ、ない」から選択
- 今年度から Forms を使用して実施した。保護者からの回答率の低下が見られている。

(1) 学校経営全般について

○生徒、保護者、教職員とも1項目以外は、肯定的評価が95%以上であった。
昨年度全対象で減少した「生徒からの教職員に悩みを伝えたり相談したりすることができる」の割合が、生徒は1.9%で減少した一方で、保護者は4.3%、教職員は4.1%と増加が見られている。課題等が発生した時に、学校と保護者の連絡を密に行っている結果と考えられる。今後も、一層生徒の思いや考えを丁寧に聞き取り、学校全体で共有して、生徒へ接していきたい。

(2) 学習活動について

○生徒、保護者、教職員ともほぼ全ての項目において、肯定的評価が95%以上であった。
●唯一80%台の評価が、教職員の「卒業後の生活に必要な読み書き計算など基本的な学力の定着について」で、2.8%減少だった。昨年も減少した項目であったため、学習内容や取り組み方など評価しながら引き続き適切な指導・支援に務めたい。

(3) 生活面の指導支援について

○生徒、保護者は全項目において、肯定的評価が92%以上であった。
●生徒と保護者は、肯定的評価がやや減少しており、保護者からは部活動についてが-4.4だった。
○教職員は、肯定的評価が増加している。

(4) 科の選択について

○保護者、教職員ともには98%以上の肯定的評価だった。
●2学年生徒3名がB評価で、5.3%の減少だった。

(5) 進路指導について

○保護者、教職員とも肯定的評価が96%以上の肯定的評価だった。
●生徒は、7名がB評価で、1.6%の減少だった。個々の状況に合わせた進路学習の充実と丁寧な情報提供を継続したい。

(6) 保健安全について

○健康と安全については生徒、保護者、教職員とも肯定的評価が97%以上であった。
●生徒の「他者への優しさ、思いやり」の項目が92.8%で他に比較すると低い評価となっている。これまでの学習を継続しながらより一層学習の充実を進めていきたい。

(7) 施設設備について

○教職員、保護者とも肯定的評価が89%以上であった。

開校から27年が経過する中、学習や寄宿舎生活への影響を最小限に抑えるよう対応しています。今後も県への要望を続けながら教育環境の整備に努めたい。

(8) PTA活動について

○保護者、教職員とも肯定的評価が97%以上であった。

保護者の理解を得ながら進めてきたところである。引き続き、共通理解を図りながら適したPTA活動を実施していきたい。

(9) 寄宿舎について

○生徒、保護者、教職員とも全項目において、肯定的評価が90%以上であった。

○生徒の舎7の項目は、10%以上の増加であった。

●生徒の舎6の項目は、95%以上の肯定的評価だったが、2名がB評価で4.8%の減少だった。

(10) 満足度について

○生徒保護者ともに92%以上の肯定的評価であった。

今後も生徒及び保護者の教育的ニーズをしっかりと把握しながら学校運営を進めたい。

(11) 全体として

○ほとんどの項目において、肯定的評価が92%以上であった。

●生徒12の項目が86.7%、職員4の項目が87.7%で、この2つが80%台となっている。

生徒12の項目については、「悩みを伝えたり相談したりすること」「友達との関わり」の項目が全体と比較し低くなっている。教職員2の項目では100%、18の項目は98.6%の高い評価となっており、生徒と教職員の評価の開きがみられている。

また、教職員4については昨年より2.8%減少しているため、基本的な学力の定着に向けての取り組み強化が必要と考えられる。

今年度の学校評価で出された意見を次年度の学校運営計画に生かし、生徒、保護者への説明と教職員の共通理解をさらに進めながら、教育活動を一層充実させていきたい。